

# 平成27年【第2回】 「いわて復興ウォッチャー調査」結果報告

## 1 目的

東日本大震災津波からの復興状況を定期的に把握するため、被災地域において復興の動きを観察できる立場にある方々の協力を得て、復興感に関する調査を実施する。

## 2 調査の概要

### (1) 調査対象

岩手県の沿岸12市町村に居住又は就労している方 153名

※原則として、毎回同じ方を対象に調査を実施

### (2) 調査方法

郵送法(郵送による発送、返信用封筒による返送)

### (3) 調査対象時期

平成27年8月(次回調査は平成28年2月予定)

### (4) 調査項目

問1 被災者の生活の回復に対する実感 (生活の回復度、直近6ヶ月間の進捗状況)

問2 地域経済の回復に対する実感 (地域経済の回復度、直近6ヶ月間の進捗状況)

問3 災害に強い安全なまちづくりに対する実感

(災害に強い安全なまちづくりの達成度、直近6ヶ月間の進捗状況)

### (5) 回収結果

有効回収率 80.4%(123名/153名) <前回 90.2%(平成27年2月調査)>

### (6) 回答者の属性

#### ①性別

性別	人数	割合
男性	83	67.5%
女性	40	32.5%
不明	0	0.0%

#### ②地域別

地域	人数	割合
沿岸北部	40	32.5%
沿岸南部	83	67.5%
不明	0	0.0%

#### ③年齢別

年齢別	人数	割合
39歳以下	18	14.6%
40歳台	31	25.2%
50歳台	44	35.8%
60歳以上	30	24.4%
不明	0	0.0%

#### ④住宅被害の有無

被災有無別	人数	割合
被災あり	67	54.5%
被災なし	54	43.9%
不明	2	1.6%

#### ⑤ 職業・所属等

- ・ 地域団体・郵便局関連(応急仮設住宅の自治会、地域づくり団体等の関係者/郵便局の関係者など) 49名(39.8%)
- ・ 教育・福祉施設関連(小中学校・高等学校の教員/福祉施設の関係者など) 35名(28.5%)
- ・ 産業・経済・雇用関連(漁業・農業従事者/就業支援員等雇用支援機関の関係者/金融機関の関係者など) 39名(31.7%)

#### ■参考■

○「回復度」「達成度」とは、発災以降における全体の回復状況についてお尋ねしています。

「進捗状況」とは、直近6ヶ月の進み具合についてお尋ねしています。

○沿岸北部とは、洋野町・久慈市・野田村・普代村・田野畑村・岩泉町の6市町村、沿岸南部とは、宮古市・山田町・大槌町・釜石市・大船渡市・陸前高田市の6市町です。

※ 調査結果の集計・分析にあたっては、岩手県立大学総合政策学部の協力を得て行っています。

※ 掲載する割合(%)は、小数点第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100.0%にならない場合があります。

### 3 調査結果の概要(1) 被災者の生活の回復に対する実感

○被災者の生活の回復度については、「回復した」「やや回復した」の合計が66.4%と前回(65.9%)を0.5ポイント上回り、「あまり回復していない」「回復していない」の合計は10.6%と前回(10.1%)を0.5ポイント上回った。

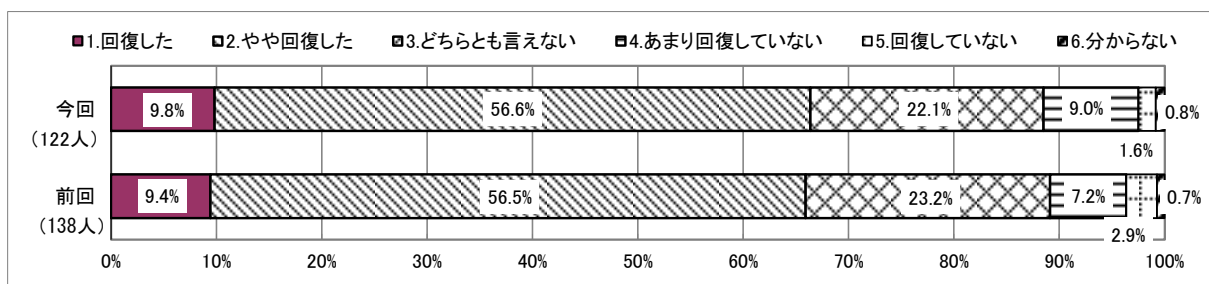
○地域別では、沿岸北部・沿岸南部ともに「やや回復した」の割合が最も高かった(沿岸北部60.0%、沿岸南部54.9%)。「回復した」「やや回復した」の合計は、沿岸北部で80.0%と前回(81.8%)から1.8ポイント下回り、沿岸南部では59.8%と前回(58.5%)を1.3ポイント上回った。

○直近6ヶ月の進捗状況を見ると、「進んでいる」「やや進んでいる」の合計が59.5%と前回(55.2%)を4.3ポイント上回り、「あまり進んでいない」「進んでいない」の合計は12.4%と前回(11.1%)を1.3ポイント上回った。

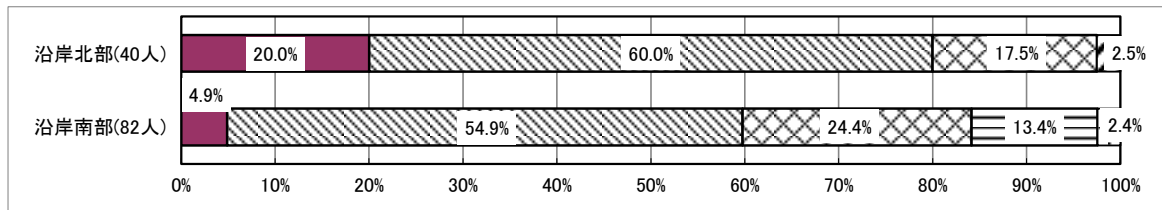
新しい町並みが整備されたという声がある一方で、若者の地元離れを懸念する声、取り残されている被災者の心のケアを訴える声もあった。

#### ① 被災者の生活の回復度(震災以降における全体の回復状況)

【設問】 あなたの周囲をご覧になって、被災者の生活は被災前と比べてどの程度回復したと感じますか？

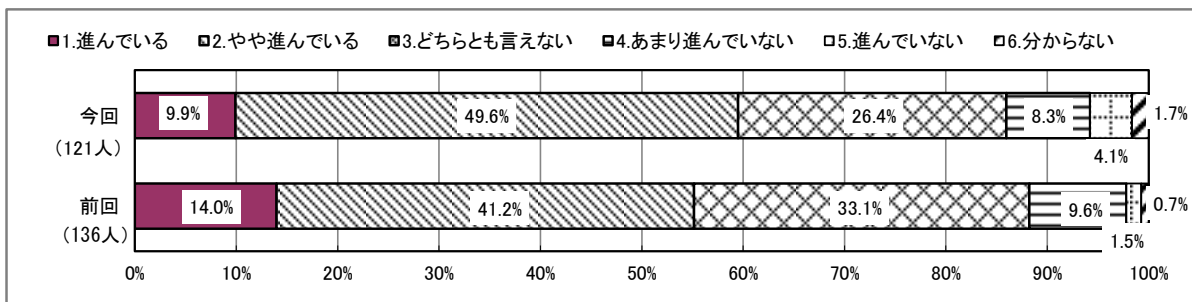


#### 地域別

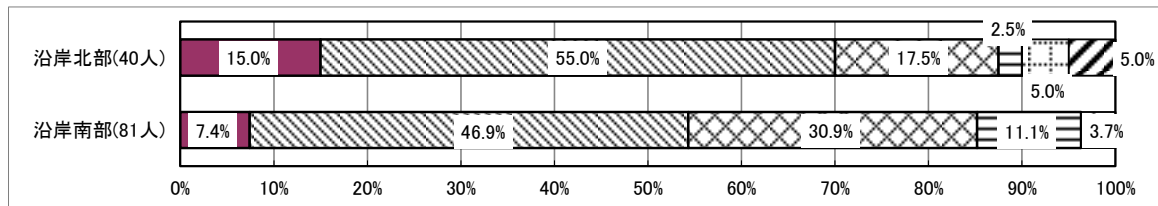


#### ② 直近6ヶ月間(概ね3月から8月まで)の進捗状況

【設問】 あなたの周囲をご覧になって、最近の(6ヶ月間程度)被災者の生活の回復の進み具合は、どの程度と感じますか？



#### 地域別



\* ( ) 内は回答者数を示す

③ 回復度(①)、進捗状況(②)に関する回答理由など[自由記載]

区分	理由(要旨)
<p>「1.回復した」 又は 「1.進んでいる」 の理由</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆高台移転先にはほぼ転居し、仮設住宅に住んでいる方は残り数軒と聞いています。お盆には新しい自宅で御先祖様を迎えられる方々もあり嬉しくなりますが、一方で雇用はこの業界も人手不足が大変な状況です。(50歳台、教育・福祉施設関連、沿岸北部)</li> <li>◆高台団地の区画整理も終り、住宅が建ち始めています。住宅を建てて仮設住宅から引っ越ししたり、公営住宅が完成したのでそこに移ったりしている人も多いです。(50歳台、教育・福祉施設関連、沿岸北部)</li> </ul>
<p>「2.やや回復した」 又は 「2.やや進んでいる」 の理由</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆仮設住宅から災害復興住宅へ移った人が増えてきました。まだ自宅再建へ手をつけられない人も多くいます。被災した小中学校が高台に建設されることになり、子供達も希望の光が感じられています。(60歳以上、地域団体・郵便局関連、沿岸南部)</li> <li>◆皆さんの表情が明るくなり、日常の生活も落ち着いてきたと感じられます。ほとんどの住宅が山手に近い場所にある為、買い物、病院、役場等に行くのに、その都度、交通費が掛かるとの声が多く聞かれます。(60歳以上、地域団体・郵便局関連、沿岸南部)</li> <li>◆住宅建設や住宅ローンの話が聞こえるようになってきており、目標が現実的になり、生活に張り合いの出ている者が増加。(50歳台、産業・経済・雇用関連、沿岸南部)</li> <li>◆被災前に行っていた行事を復活させたり、新たなイベントを計画したりする人がいる。しかし、生活水準は決して高いとは言えない。心に余裕のない中での子育てで、子供が寂しそうだ。(50歳台、教育・福祉施設関連、沿岸南部)</li> <li>◆震災で無くなってしまった町並みが整理され、以前にはなかった新しい道路が出来た。(50歳台、教育・福祉施設関連、沿岸北部)</li> <li>◆まだ自分の思い描いていた家を実現することが難しいために長期の仮設暮らしを強いられる人もいる。嵩上げに伴い、被災した場所に盛り土が置かれ、道路もきれいになり、車で通行しやすくなった。(40歳台、地域団体・郵便局関連、沿岸南部)</li> <li>◆復興住宅が完成して入居された方が多い。少し落ち着いたという方が多い中、街が落ち着いたら家をたてたいという方がいて、復興住宅入居で、完全に落ち着いたといえないのだなと思った。(39歳以下、地域団体・郵便局関連、沿岸南部)</li> <li>◆災害公営住宅団地が次々に完成し、住民の移動が進んでいる。浸水域の盛土作業が日に日に進んでいるのがわかり、まちづくりの活動も各地活発化してきた。(50歳台、地域団体・郵便局関連、沿岸南部)</li> </ul>
<p>「3.どちらとも言えない」 の理由</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆仮設住宅に住んでいる方々の中で、再建の見通しが諸事情のため進んでいないという方が目につきます。中には、平成30年まで先延ばしで再建できない方の話を聞くと、気が遠くなります。(50歳台、教育・福祉施設関連、沿岸南部)</li> <li>◆高齢者だけの世帯は経済的に難しいのか仮設に残っている世帯ではそのような方々が目立ってきているのも事実。表面的な形式だけのものではなく、深く掘り下げるような心のケア・フォローといったものが必要。(40歳台、地域団体・郵便局関連、沿岸南部)</li> <li>◆若年層の地元離れが著しいせいか、街そのものに活気がみられない。住宅の新築が以前より増してきたように思えることから、少しは被災者の生活に明るい兆しが見られてきたように思える。(50歳台、教育・福祉施設関連、沿岸北部)</li> <li>◆災害復興住宅が最終的目標だったはずなのに、お金が発生するようになったから生活が苦しいとか、仮設で仲良くなった近所の方とまたバラバラになったという問題も発生していると聞く。(39歳以下、教育・福祉施設関連、沿岸南部)</li> </ul>
<p>「4.あまり回復していない」 又は 「4.あまり進んでいない」 の理由</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆仮設住宅住民の様子は、高台移転や災害公営住宅入居の仮申し込みは済んだが、まだ土地の造成も出来ていないので、「まだまだだね」が会話の中心。(60歳以上、地域団体・郵便局関連、沿岸南部)</li> </ul>
<p>「5.回復していない」 又は 「5.進んでいない」 の理由</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆被災前の地所に自立再建の予定でしたが、確実な年月が見えませんが他地域に地所を購入し自立再建致しました。こうした方々にも仮設住宅で生活している方々と同様、県・市の目を向けて下さる様お願い致します。(60歳以上、地域団体・郵便局関連、沿岸南部)</li> </ul>

注1) 「理由(要旨)」は、趣旨を損なわない範囲内で要旨を記載しています。

注2) 「区分」別の「理由(要旨)」数は、区分の回答比率に概ね準じています。

注3) 掲載内容は、同旨意見の多かった内容や回答者の専門的視点に基づいた内容等を記載しています。

[凡例] 地域団体・郵便局関連：応急仮設住宅の自治会、地域づくり団体等の関係者/郵便局の関係者など  
 教育・福祉施設関連：小中学校・高等学校の教員/福祉施設の関係者など  
 産業・経済・雇用関連：漁業・農業従事者、就業支援員等雇用支援機関の関係者、金融機関の関係者など

### 3 調査結果の概要(2) 地域経済の回復に対する実感

○地域経済の回復度については、「回復した」「やや回復した」の合計が54.2%と前回（53.6%）と前回は0.6ポイント上回り、「あまり回復していない」「回復していない」の合計は7.5%と前回（13.1%）を5.6ポイント下回った。

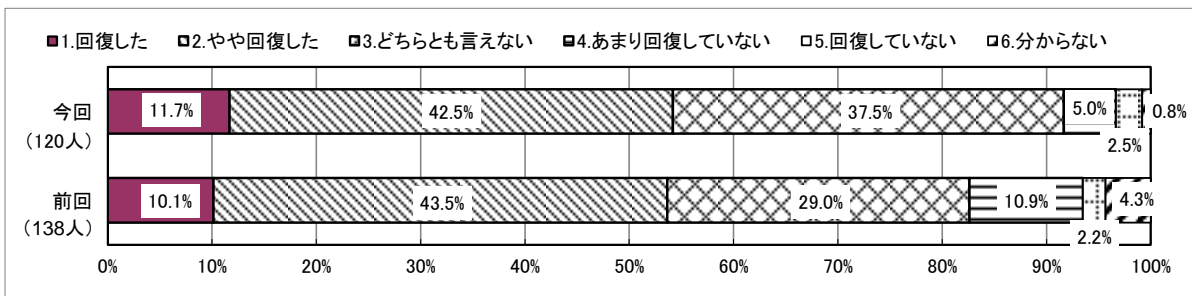
○地域別では、沿岸北部・沿岸南部ともに「やや回復した」の割合が最も高かった（沿岸北部39.5%、沿岸南部43.9%）。「回復した」「やや回復した」の合計は、沿岸北部で60.6%と前回（63.6%）を3.0ポイント下回り、沿岸南部では51.2%と前回（48.9%）を2.3ポイント上回った。

○直近6ヶ月の進捗状況を見ると、「進んだ」「やや進んだ」の合計が45.8%と前回（40.6%）を5.2ポイント上回り、「あまり進んでいない」「進んでいない」の合計は9.1%と前回（15.2%）を6.1ポイント下回った。

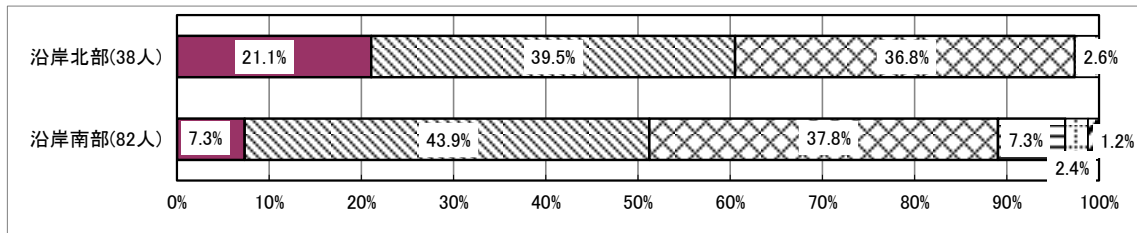
水産業の好調や従来からのビジネスモデルからの転換に成功といった声がある一方、商業の不振、人手不足を訴える声もあった。

#### ① 地域経済の回復度(震災以降における全体の回復状況)

【設問】 あなたの周囲をご覧になって、地域経済は被災前と比べてどの程度回復したと感じますか？

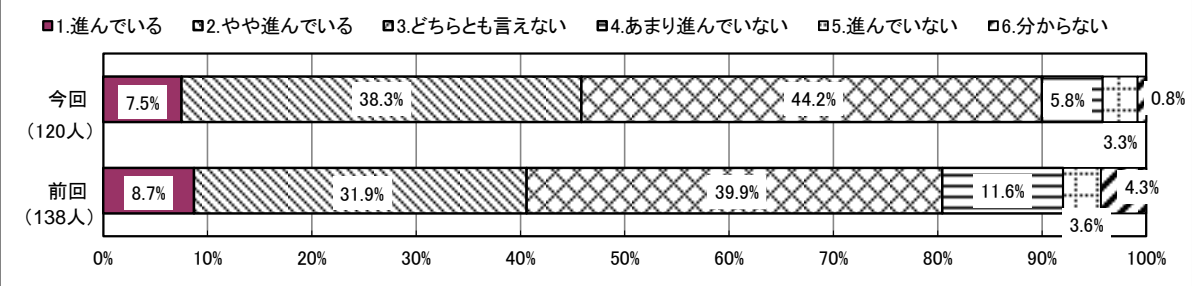


#### 地域別

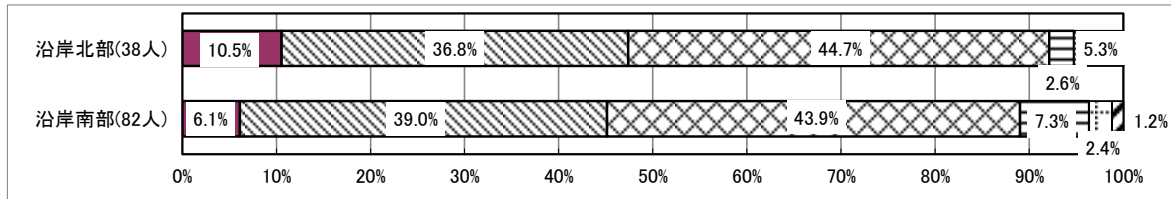


#### ② 直近6ヶ月間(概ね3月から8月まで)の進捗状況

【設問】 あなたの周囲をご覧になって、最近の(6ヶ月程度)地域経済の回復の進み具合は、どの程度と感じますか？



#### 地域別



\* ( ) 内は回答者数を示す

③ 回復度(①)、進捗状況(②)に関する回答理由など[自由記載]

区分	理由(要旨)
<p>「1.回復した」 又は 「1.進んだ」 の理由</p>	<p>◆殆どが仮設での事業再開であるが、事業規模等は被災前に近づいている。これから本設に向けて正念場となります。支援はこれからが重要となります。(60歳以上、地域団体・郵便局関連、沿岸南部)</p> <p>◆養殖施設も復旧し、生産量も被災前と同じくらいの水準になった。(39歳以下、産業・経済・雇用関連、沿岸南部)</p>
<p>「2.やや回復した」 又は 「2.やや進んだ」 の理由</p>	<p>◆水産業の工場再建、事業再開により、地域経済が動き出した。業種によっては震災前後でビジネスモデルの転換に成功し、従来を上回る業況になった事業者もある。一方で、販路が戻らず苦戦する事業者もあると見聞きする。(50歳台、産業・経済・雇用関連、沿岸南部)</p> <p>◆スーパーなどの特売日は、駐車場のみではなく、近くの道路まで車があふれている。(60歳以上、地域団体・郵便局関連、沿岸南部)</p> <p>◆釜石の橋野の世界遺産が決まったことで、人が訪れるようになり、活気づいてきているようです。復興関係の仕事でも増えているので、飲食店や宿泊するところは混んでいます。(60歳以上、地域団体・郵便局関連、沿岸南部)</p> <p>◆公営住宅・自立再建等、建設業は盛んに工事をしているが、残念ながら地元業者より近隣及び遠方の業者等が多数参入しており地元業者には。(60歳以上、地域団体・郵便局関連、沿岸北部)</p> <p>◆嵩上げが必要のため、別の低地で工事に支障のない場所に移転し、集合店舗地で営業しております。漁業者は、震災を感じさせないほど大きな力で前向きに進み、養殖等も育ちが良く業績も上っている様です。(60歳以上、地域団体・郵便局関連、沿岸南部)</p> <p>◆商業市街地の整備が進んできている。これに伴って、小売商店集合型商店街建築の整備が行われているが、度重なる移転で店舗を閉じる業者もあることは淋しい。(60歳以上、地域団体・郵便局関連、沿岸南部)</p> <p>◆水産業、水産加工業に復活の兆しがある。加工場が新しく建設されてきた。養殖ワカメやホヤ、ホタテ等が被災前のように店頭に並び、売れている。しかし、漁業や水産業に従事する若者がいないことは、深刻な問題だ。(50歳台、教育・福祉施設関連、沿岸南部)</p>
<p>「3.どちらとも言えない」 の理由</p>	<p>◆水産加工業は、高齢化による退職を補充できなく、国外より研修生を迎えているが必要人数に達していない。受注はあるが、生産・加工体制が整わないため、断っているケースもある。(50歳台、産業・経済・雇用関連、沿岸南部)</p> <p>◆海産物・農産物とも風評被害による売上減少の傾向は強く、まだまだ時間が必要と思われる。その他の事業所等については、もとより震災廃業した所も多く、生業としての事業再開については見込めない。(50歳台、産業・経済・雇用関連、沿岸北部)</p> <p>◆漁業については、水産物の価格の低迷とともにパートの確保ができなくなり、漁業者がひとりで作業ができる仕事だけ選ぶようになった。収入を増やすより、経費を減らす方向へ進んでいる。(50歳台、産業・経済・雇用関連、沿岸北部)</p> <p>◆復興応援隊、復興支援員の認知度が上がり、「共に生活していこう」と起業なり事業を新規に取り組むケースが見られるのは良い傾向。(39歳以下、産業・経済・雇用関連、沿岸北部)</p> <p>◆仮設の商店が2度目の移転となり、その労力に計り知れないエネルギーを要しています。さらに3度目の移転があるわけで、なかなか大変な状況にあります。(50歳台、教育・福祉施設関連、沿岸南部)</p> <p>◆魚菜市场は店の数が減り、自販機の並んだペースができた。魚の種類や数も増えたとは思えない。市内に昔からあった店が倒産した。経済にどれだけ影響があるのか？詳しい事はわからないが、不安が募る。(50歳台、教育・福祉施設関連、沿岸南部)</p> <p>◆地元商店の再建はそこそこ見られるが、商店街と呼べるにはほど遠く、市外へ客足が逃げていく。外国人労働者が増え、夜一人で買い物する時、違和感がある。(50歳台、教育・福祉施設関連、沿岸南部)</p>
<p>「4.あまり回復していない」 又は 「4.あまり進んでいない」 の理由</p>	<p>◆商業・サービス業は仮設店舗での営業が続いており、本設営業予定地の造成工事の完了を待っている状況である。しかしながら、休業者や廃業者も相当数おり、地区外に移転した工場の地元での再開は見込めない。(60歳以上、地域団体・郵便局関連、沿岸南部)</p>

注1) 「理由(要旨)」は、趣旨を損なわない範囲内で要旨を記載しています。

注2) 「区分」別の「理由(要旨)」数は、区分の回答比率に概ね準じています。

注3) 掲載内容は、同旨意見の多かった内容や回答者の専門的視点に基づいた内容等を記載しています。

[凡例] 地域団体・郵便局関連: 応急仮設住宅の自治会、地域づくり団体等の関係者/郵便局の関係者など  
 教育・福祉施設関連: 小中学校・高等学校の教員/福祉施設の関係者など  
 産業・経済・雇用関連: 漁業・農業従事者、就業支援員等雇用支援機関の関係者、金融機関の関係者など

### 3 調査結果の概要(3) 災害に強い安全なまちづくりに対する実感

○安全なまちづくりの達成度については、「達成した」「やや達成した」の合計が33.3%と前回（30.5%）を2.8ポイント上回り、「あまり達成していない」「達成していない」の合計は34.2%と前回（29.0%）を5.2ポイント上回った。

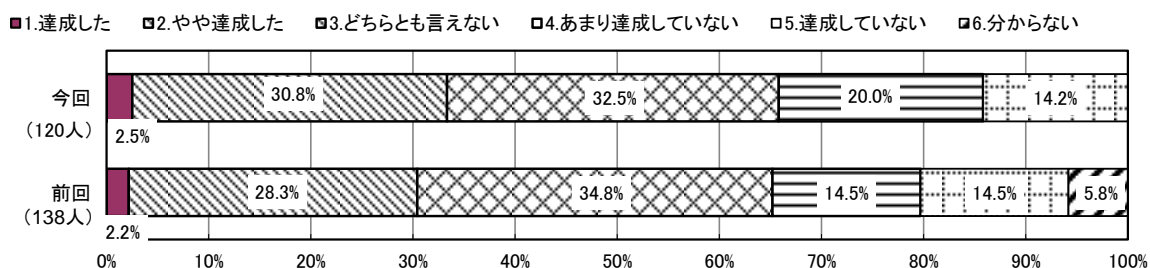
○地域別に見ると、沿岸北部では「やや達成した」が38.5%（前は47.7%）と最も高く、沿岸南部では「どちらとも言えない」が30.9%（前は39.4%）が最も高くなっている。

○直近6ヶ月の進捗状況を見ると、「進んでいる」「やや進んでいる」の合計が50.4%と前回（40.1%）を10.3ポイント上回り、「あまり進んでいない」「進んでいない」の合計は24.8%と前回（23.4%）を1.4ポイント上回った。

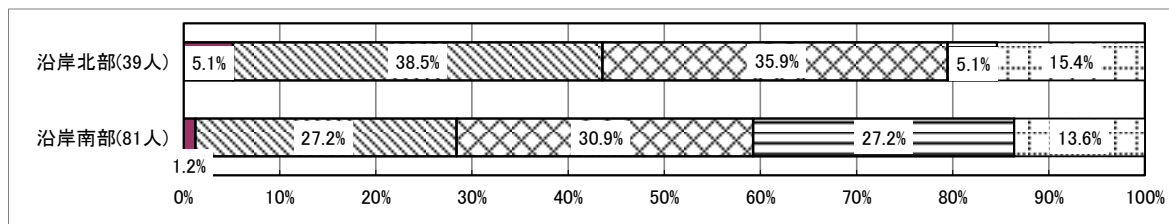
防潮堤等工事の進捗を評価する声がある一方、防潮堤で海が見えなくなるとの声や避難誘導看板等の不足、住民の不安解消がなされていないといった声もあった。

#### ① 災害に強い安全なまちづくりの達成度（震災以降における全体の達成状況）

【設問】 あなたの周囲をご覧になって、災害に強い安全なまちづくりは、被災前と比べてどの程度達成したと感じますか？

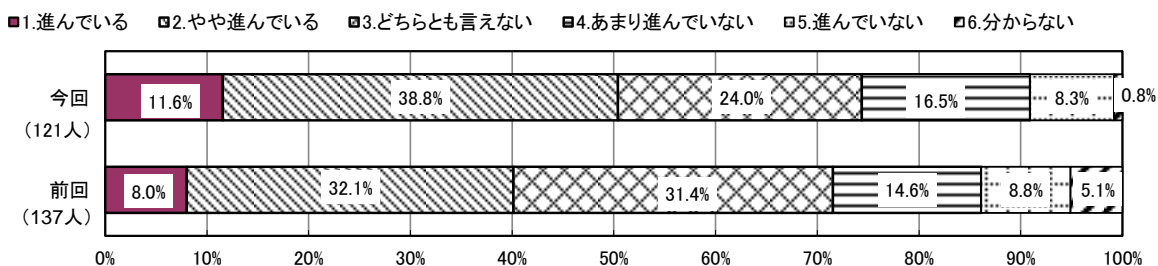


#### 地域別

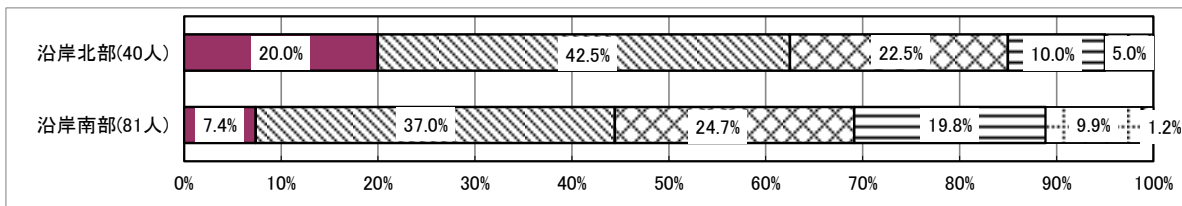


#### ② 直近6ヶ月間（概ね3月から8月まで）の進捗状況

【設問】 あなたの周囲をご覧になって、最近の（6ヶ月程度）災害に強い安全なまちづくりの進み具合は、どの程度と感じますか？



#### 地域別



\* ( ) 内は回答者数を示す

③ 達成度(①)、進捗状況(②)に関する回答理由など[自由記載]

区分	理由(要旨)
<p>「1.達成した」 又は 「1.進んでいる」 の理由</p>	<p>◆新築完成した世帯から防災集団移転地に順次引っ越しが進み、復興公営住宅の建設も進んでいる。中心市街地の方々は土地区画整理事業の遅れに不安を抱えている。自立再建希望の方々は、土地確保などで不安を抱えている。(60歳以上、地域団体・郵便局関連、沿岸南部)</p>
<p>「2.やや達成した」 又は 「2.やや進んでいる」 の理由</p>	<p>◆防潮堤工事や土地区画整理事業等、ハード面での備えはいいと思うが、老人・子供等の避難サポートというソフト面をどう構築していくかが今後の課題と思われる。(50歳台、産業・経済・雇用関連、沿岸北部)</p> <p>◆確実に目に見える形となってきている。完成見込が近づくにつれ、建設業の方から復興工事完了後、仕事なくなるのではとの不安の声が聞こえる、という事は、進んでいるという事なのだと思う。(40歳台、産業・経済・雇用関連、沿岸北部)</p> <p>◆大きな城塞のような防潮堤の建築工事が目立ってきた。ただ海が見えなくなるのが気に掛かる。(60歳以上、地域団体・郵便局関連、沿岸南部)</p> <p>◆防潮堤、宅地の嵩上げ工事等が進んでおります。それぞれの現場でダンプが忙しく動いております。災害公営住宅地も嵩上げが終り、多くの方々の御苦労と御協力のもと、私共の町にも復興の光が見えてまいりました。(60歳以上、地域団体・郵便局関連、沿岸南部)</p> <p>◆防潮堤の整備は着々と進んでいる。地元では高い所に道路が通った。また三陸道整備がすごく進んでいる。高台は区画整備もして、もう少しで災害復興住宅が完成予定である。そう思うと、かなりすすんだと思う。(39歳以下、教育・福祉施設関連、沿岸南部)</p> <p>◆高台移転の土地の造成も進み、堤防や太陽光発電の施設も建設が進んでいる。その様子を見ると進んでいると感じる。まだ完成には時間がかかりそう。(39歳以下、地域団体・郵便局関連、沿岸南部)</p>
<p>「3.どちらとも言えない」 の理由</p>	<p>◆防潮堤も道路工事も現在進行形であり、まだまだ完成までには数年かかると思うが、日々嵩上げされる盛土やトンネルの貫通ニュースには、一步一步新たなまちづくりが進んでいるんだと希望が持てる。(50歳台、教育・福祉施設関連、沿岸北部)</p> <p>◆どこの工事も目立って進んでいると感じられない。震災後時間がたつにつれ、内容に少々疑問を感じる工事もあるように思える。地域の過疎化などこのまま進んでいく方向がよくわからない。(50歳台、産業・経済・雇用関連、沿岸北部)</p> <p>◆最近続く小さな地震、又、津波避難警報等が何度か出された。それらの様子を見て人々の防災意識はだんだん高まってきたと感じる。あとは防潮堤などの整備を急ぎたい。(50歳台、教育・福祉施設関連、沿岸南部)</p> <p>◆防潮堤も作られつつあり、高さ等はだいぶ高い様に感じるが、近頃の気象情報等を考慮すると、必ずしも安全といいきれるか疑問でもある。(39歳以下、地域団体・郵便局関連、沿岸南部)</p> <p>◆日中は良いが、夜間はまだ街灯も少なく、道路の舗装等もされていない所や、段差があったりするところがある。お年寄りの方などは、もし避難ということになると、危ないと思う。(39歳以下、地域団体・郵便局関連、沿岸南部)</p> <p>◆防災・減災への必要性は良くわかっているが、行政がリードしていても、住民の動きは少なく意識も高くはない。生活の立て直しがまずなされた後での防災対策…という印象。(50歳台、地域団体・郵便局関連、沿岸南部)</p>
<p>「4.あまり達成していない」 又は 「4.あまり進んでいない」 の理由</p>	<p>◆防潮堤の工事の遅れは問題ではない。避難誘導看板等が不足していると思います。45号線を昼と夜、車で通ってみてください。(60歳以上、地域団体・郵便局関連、沿岸南部)</p> <p>◆盛土工事や高台移転予定地の稜線堀削工事は自然に視線内に映りますが、中心市街地等の活用計画が猫の目の様で、戸惑い焦り、不安、挫折感が常にあります。何故なら、防潮堤の整備が進んでないからです。(60歳以上、地域団体・郵便局関連、沿岸南部)</p> <p>◆新しく区画整理され、競うように新築されているが、そもそもがはたしてここでいいのだろうかと思われる場所もある。再び、あのような津波がくると同じことのくり返しになるのではないかと。(60歳台、教育・福祉施設関連、沿岸北部)</p>
<p>「5.達成していない」 又は 「5.進んでいない」 の理由</p>	<p>◆昨年8月時点では、動きが見えなかった防潮堤の第一線堤両側の復旧工事がようやく始まったが、北側の工事の動きは全く見えない。完成年度がいつになるのか、県からの説明は最近全くない状態が続いている。(60歳以上、地域団体・郵便局関連、沿岸南部)</p> <p>◆復興道路も大切だとは思いますが、その前に優先的にやる事があるのではないのでしょうか。住民の不安を解消するのが先ではないのでしょうか。(40歳台、地域団体・郵便局関連、沿岸北部)</p>

注1) 「理由(要旨)」は、趣旨を損なわない範囲内で要旨を記載しています。

注2) 「区分」別の「理由(要旨)」数は、区分の回答比率に概ね準じています。

注3) 掲載内容は、同旨意見の多かった内容や回答者の専門的視点に基づいた内容等を記載しています。

[凡例] 地域団体・郵便局関連: 応急仮設住宅の自治会、地域づくり団体等の関係者/郵便局の関係者など

教育・福祉施設関連 : 小中学校・高等学校の教員/福祉施設の関係者など

産業・経済・雇用関連: 漁業・農業従事者、就業支援員等雇用支援機関の関係者、金融機関の関係者など

平成27年【第2回】  
「いわて復興ウォッチャー調査」  
結果報告

発行

平成27年9月15日

岩手県

復興局 復興推進課

〒020-8570

岩手県盛岡市内丸10-1

電話(019)-629-6945

ホームページ：岩手県震災復興・復興の動き

<http://www.pref.iwate.jp/fukkounougoki/>